

# 経営関係

## テーマ 情報化進展によるワークスタイルの変化 講師 浅井重和

### 内容

情報化が職場に浸透することによって、これまでのオフィスワーカーの職場を大きく変容することになりました。また、情報化の波は職場の業務処理の方法を変えただけでなく、職場の「場」としての意味を大きく変える事になりました。オフィスはコミュニケーション技術の発展により、協業のための空間的な「場」としての意味から、情報空間、サイバースペースが新たな場としての意味へと大きく変化している。テレワークやテレコミューティングがその代表的・具体的なツールと考えられるが、テレワークを中心にその現状及び課題、そして今後の動向について話したいと思う。

## テーマ 地域情報化と企業経営について 講師 浅井重和

### 内容

地域情報化を推進する事は、ITを活用し公共サービスの高度化と公平・透明性を確保し、地域住民の生活の利便性と質の向上を図るだけでなく、時間的、空間的制約を越えた情報共有基盤の構築を可能とし、シームレスな人間関係や組織づくり等、経済・社会活動の再構築と新たな価値観を創出することで地域社会を活性化する取り組みである。

その中で地域社会の活性化における中小企業の果たす役割は大きい。しかし、比較的地方に多い規模の小さい中小企業では、情報化への対応が遅れ、外部社会から遮断され企業成長を阻害しているのが現状であり、地域社会が活性化していくには、まず、中小企業を活性化し、地域住民の活力をつけることが重要になってくる。そこで、地域情報化と企業経営との関係性や実情について説明し、例として宮崎県の中小企業の実態と今後の課題について話したいと思う。

## テーマ コンピュータは勉強しなくちゃいけないものなの？ 講師 井上古樹

### 内容

コンピュータ・サイエンスは急速な発展を遂げ日々進歩しています。この進歩の早さ故について行けないと思った人も多いのではないのでしょうか？「コンピュータは勉強しなくちゃいけないものなの？」といった素朴な疑問をまず考え見ましょう。きっと新しい発見があるはずです。このテーマを最新のコンピュータ・サイエンスの見地から解説します。

## テーマ クラウド・コンピューティング 講師 井上古樹

### 内容

クラウドという言葉が最近よく使われるようになってきました。しかし、その全体像を把握している人は少ないのではないのでしょうか？これまでは高性能なハードウェアと、高品質なソフトウェアを持つことが、快適なコンピュータ・ライフを送る条件とされてきました。そして、そのために自宅のパソコンの買い替えや、使っているソフトウェアのバージョンアップに、沢山のお金を使い大変だったと思います。しかしその快適なコンピュータ・ライフのための条件は、クラウドが普及することにより今までと異なり、コンピュータ・ユーザにとって、大きな転換期となるでしょう。この授業では、コンピュータの進歩の歴史とその未来像をお話します。

## テーマ インターネット社会の光と影 講師 白石敬晶

### 内容

インターネットの急激な普及により、情報検索には、書籍を調べるよりもまず、検索エンジンを使う、旅行をするにも旅行代理店ではなく、ネットで情報を調べる。仕事もファックスに変わって電子メールを使うというように生活そのものがインターネットなしには考えられない時代になってきています。その一方でWinnyを悪用したコンピュータウイルスによる情報漏えいが起こるなどインターネットならではの社会問題が起きています。このようなインターネット社会の光と影の部分を具体的に解説しながら私たちがインターネットをどのように使っていくかを考えてみたいと思います。

## テーマ 今日における経営戦略の課題と今後の動向 講師 柚原知明

### 内容

今日における経営戦略論の主要なテーマである「ドメインの設定」「経営戦略の策定」「競争戦略」「成長戦略」「ネットワーク戦略」「グローバル戦略」「経営戦略と社会」といった課題に対して、実際の企業において戦略が果たしてきた事例を紹介しながら今後の動向について考えてみたいと思います。今日までの経営戦略論は、企業の競争優位と経済合理性を目指して大きく発展してきました。ぜひ、今日まで大きく発展してきた経営戦略論のもつダイナミックさと奥深さを感じてほしいと思います。しかしながら、一方今日においては国際競争の激化に伴い企業倫理を欠いた企業行動や企業の社会的責任、雇用をめぐる課題、株主をはじめとする利害関係者への充足、社会貢献等様々な課題も議論されております。今後に向けては、従来までの経営戦略論もつ経済合理性と併せて多様な社会性も重要視されなくてはなりません。

## テーマ 私達にとっての経営学～人間社会の豊かさと幸せを目指して～ 講師 柚原知明

### 内容

私達は、さまざまな組織と複雑に関わりながら毎日生活しております。経営学は、金儲けをする人や会社の社長など一部の人間を対象とした学問ではありません。本授業では、身近な人間社会の”協働の学”として、私達にとっての豊かさと幸せを目指している経営学について事例を踏まえ分かり易く解説を行う。

## テーマ 今日における成果主義賃金の動向と課題 講師 柚原知明

### 内容

今日における成果主義賃金の普及は、我が国の戦後賃金史において実に 30 年ぶりの賃金形態の移行期と捉えられる。1970 年代以降から多くの日本企業に普及してきた職能資格制度を中心とした「属性基準」の賃金形態から、「職務基準」の賃金形態へ再び姿を変えて移行しようとしている時代である。本授業は、成果主義賃金の実態調査を踏まえ動向と今後の課題について分かり易く解説を行なう。

## テーマ 「キャリアデザイン(形成)論」 講師 武次玄三

### 内容

若年者の雇用問題は重要な社会問題の一つとなっていますが、その対策として、早い時期からキャリア教育の重要性が唱えられています。本授業では高校生の皆さんに自分の将来像について考えたり、キャリアの目標を立て、「なりたい自分」と「現在の自分」の違いについて考えた上で、学習の計画を立ててその段階を歩む、「キャリアデザイン(形成)」について論じます。

**テーマ** **エコビジネス** **講師** **武次玄三**

**内容**

地域環境問題(温暖化・酸性雨・森林破壊・オゾン層破壊・種の減少等)の原因を作ったのは主に企業ですが、その解決に取り組んでいるのも企業です。宮崎でも焼酎カスの再利用やバイオマス発電等が盛んになってきました。21世紀の成長産業であるエコ(環境)ビジネスについて概説します。

**テーマ** **世界の経済の動きを知ろう** **講師** **宮永雅行**

**内容**

日本が景気の低迷期にはいつからずいぶん時間が過ぎました。この間世界は、米国を中心とした金融バブルの発生とその崩壊を経験し、世界も日本もこうした動きに揺れ動かされてきました。そしていま経済の主演は先進国から新興国へと移ってきています。こうした力の均衡の変化は世界をどう変えていくのか。期待がある反面、不安でもあります。さあ、これから私たちはこの時代にどう対応したらよいかいっしょに考えてみましょう。

**テーマ** **夢と希望とサムマネー～しっかりとしたライフプランニングを～** **講師** **宮永雅行**

**内容**

自分の利益を追求することで犯罪に手を染める人々はあとをたたず、お金を追求する生き方への反感が高まっています。しかしその反面、借金苦による自殺など、お金がなくて人生を狂わしてしまうケースも多く発生しています。皆さんの夢や希望を実現するためにもお金が必要です。やっぱり人生にお金は大事なんですね。そこで今回は、ライフプランニングって何なのか、資産投資ってどうすればいいのかなど基本的なことを皆で学習しましょう。

**テーマ** **マネーゲームや市場主義** **講師** **久保田博道**

**内容**

2005年夏から2006年春頃まで株価が急速に回復し、そのような状況の中、個人株式投資家(デイトレーダー)やベンチャービジネスオーナー等、株式取引で莫大な利益を得る人が増加しました。また、その間の側面として、ライブドア事件など企業による粉飾決算、株式売買操作ミスによる市場混乱、株式取引数増加によるシステムトラブルなど、様々な事件が起こっています。これらの状況は、間接金融に代わってよいよ直接金融が主演となってくる時代状況を現しています。これをふまえて市場のあり方や金融取引の意味について皆さんと考えていきましょう。

**テーマ** **なぜ、このお店で買ってしまったのか～お買物行動学～** **講師** **日高光宣**

**内容**

私たちは、誰でもはっきりとした目的を持って買い物をするよりも、なぜかしら急に目の前のものを買ってしまうことのほうがはるかに多い気がしませんか。お店では、人間の心理学、行動学を駆使して、みなさんたちにできるだけたくさんの商品を衝動的に買ってもらうための仕掛けづくりに努力しているのです。思わず商品を買ってしまうイケテルお店の鉄則について解説します。

**テーマ** **ヒット商品づくりの法則** **講師** **日高光宣**

**内容**

商品の名前を変更しただけでヒット商品に変身した商品があります。ユニークなテレビCMが話題になり、商品がヒットしたという事例もあります。いろんな具体的事例をもとに、ヒット商品作りの極意を探ります。

**テーマ** **新聞を楽しく読もう！** **講師 眞嶋一郎**

**内容**

若者の活字離れが進んでいる。大学生でも新聞を読み始めるのは就職活動の時期になってからである。この授業では、その日の「宮崎日日新聞」を資料にして新聞メディアの特徴や楽しく読むための見方や読み方をやさしく解説する。

**テーマ** **仕事を改善しよう！** **講師 眞嶋一郎**

**内容**

日本のものづくりの良さは世界にとどろいている。自動車や電機製品は世界中で愛用され、高級品として評価されている。わが国のものづくりの良さを支えているのが現場の改善活動である。ここではものづくりで大切なことは何か、改善活動とは何か、について平易に解説する。独自の教材を使ってゲーム感覚で授業を行う。

**テーマ** **東日本大震災と私たち** **講師 眞嶋一郎**

**内容**

1000年に一度の大惨事といわれる「東日本大震災」は、津波あるいは東京電力福島第1原発事故など、多くの被害をもたらしました。また同時に、日本人の心にも大きな変化を与えました。この授業では、大震災を色々な角度から分析すると同時に、これからの日本あるいは日本人の生き方について学びます。授業の形式は前半は講師が解説し、それをもとに生徒たちがグループに分かれて討議します。最後にグループの意見をまとめて終わります。

**テーマ** **「地域交通と観光振興」** **講師 谷川廣美**

**内容**

九州の地域交通の在り方と観光振興の促進を観光産業を通じて地域を変える・地域を創る、地域経済の活性化への取組みを考えてみましょう。

**テーマ** **本当に市場は万能なの？** **講師 水上雅雄**

**内容**

経済は市場に任せれば全てうまくいくのでしょうか。確かにあるものは市場に任せるほうが良いものがあります。そのようなものが大半であるかもしれません。しかし、人の生活にとって無くてはならないもので市場に任せるには不都合なものもあります。皆さん、例えば「水」について考えてください。これは市場化した方が良いと思いますか。他にも「水」に似た財は沢山あります。このような財と市場との関係を一緒に考えてみましょう。

**テーマ** **公共性について考えよう！** **講師 水上雅雄**

**内容**

ある企業が工場で商品を生産し、ある価格で売る場合を考えよう。この商品を生産するのに有害物質を排出しているのならば、この企業はこの商品と有害物質は対となって生産していることとなる。消費者はこの商品を購入して私的に享受する。しかし、この有害物質が地域に悪影響を及ぼしているならば、この財は他の人々にも影響を及ぼしているという意味において公共性をもっていると考えられないだろうか。皆さん、どう思いますか？

**テーマ** **「サブプライムローン問題」とは何だろう。** **講師 水上雅雄**

**内容**

2007年春頃からアメリカで「サブプライムローン問題」が知られるようになり、その年の夏以降、この問題が深刻化しアメリカのみならず日本、欧州にも深刻な打撃を与えました。その背景には金融市場における債権の証券化が深く関係していると共にローン契約上のモラルの低下もその一因といわれています。原点に立ち戻って「ローンを組む」つまり「借金をする」とはどういうことなのかを一緒に考えましょう。

## テーマ 大学での簿記会計教育に対する期待と課題 講師 嶺 輝子

### 内容

大学の商学部や経営学部における簿記会計教育に対して学生や社会が期待するのは、一般的に(1)企業活動のグローバル化、新しい種類・形態の取引の出現、取引内容の複雑化などに伴う会計上の諸問題に対応できる即戦力養成としての簿記会計教育、(2)商学部・経営学部の学生として必須の基礎能力習得のための簿記会計教育、(3)資格取得のための簿記会計教育などが考えられる。こういった期待に大学は応えることができるのか。大学での簿記会計教育に対する期待と課題についてお話してみようと思います

## テーマ 会計ビックバン後の企業会計の変貌と将来 講師 嶺 輝子

### 内容

日本版金融ビックバンは金融市場の活性化、そして日本経済の再生を最大の目的としたものでした。この目的実現のための1つの手段として会計制度の国際的標準化が要請され、これを受けて実施された世界に通用する会計基準の設定という大改革が「会計ビックバン」と呼ばれるものです。このビックバン後の日本の企業会計(会計基準・会計制度)の変貌および方向性・将来像についてお話してみたいと思います。

## テーマ 公会計情報のあり方 講師 森田英二

### 内容

公会計は国や地方自治体の会計です。国民の納めた税金がどのように使われたのか、ということが数値(金額)で明らかにされて開示されます。その公会計情報のあり方について、通常の企業会計情報と比較しながら考えていきます。

## テーマ 国際財務報告基準(IFRS)入門 講師 出山 実

### 内容

国際財務報告基準(IFRS)は、従来、我が国で用いてきた会計基準に大きな変容をもたらし、新しい視点から企業価値を測る会計基準であるといえます。我が国ではすでに IFRS による財務諸表の作成が認められ、適用対象となる企業が着々と導入準備を進めています。当然、簿記会計に携わる人にとって、IFRS は必須の知識となってきます。本講座では、IFRS 策定の背景を踏まえて、IFRS による財務諸表作成のポイントを説明します。

## テーマ 企業情報開示の拡充:CSR 報告書の読み方 講師 出山 実

### 内容

現在、企業の情報開示の一環として、経済性だけでなく、社会性や環境性への取り組みまで含む CSR 情報の開示が広がりをみせています。CSR 情報は、CSR 報告書と呼ばれる情報開示ツールで公表され、冊子やウェブ上で誰でも確認することができます。これらの情報は、消費者の視点からは環境配慮型商品や寄付型商品を選ぶ際の判断基準として、学生の視点からは就職活動で企業を選ぶ判断基準として活用することができます。本講座では、私たちに身近な立場から、CSR 報告書の読み方を説明します。

## テーマ 日米の個人金融資産とお金の流れ 講師 長原 徹

### 内容

- ① 日米の個人金融資産の配分状況を概観し、日本人と米国人の資産運用に対する考え方の違いを検討します。
- ② お金の流れの分析を通じ、それが景気の良し悪しに影響を与える大きな要因であることを確認します。
- ③ ①と②の分析を通じ、日本と米国でどちらがより効率的にお金を経済に還元しているかを考えます。

## テーマ 株式とファイナンス

講師 長原 徹

### 内容

- ① 株式の仕組みを紹介し、現代社会で株式がどのように位置づけられるかを考えます。
- ② 資金調達という観点からファイナンスを紹介した後、株式によるファイナンスが企業にとってどのような意味を持つかを見てみます。
- ③ ①と②の分析を通じ、資金運用の立場から株式についての考え方のコペルニクスの転換を迫ります。

## テーマ 新しい金融

講師 長原 徹

### 内容

- ① 金融について経済学的見地からの説明を行います。
- ② 日本における従来の金融システムの特徴を紹介した後、今後の金融システムの青写真を描いてみます。そのさいは、依然として知られていない新しい金融組織も紹介を行い、この新しい金融の可能性についても考えます。

## テーマ 政府のファイナンスー財政ーに関する今日の課題

講師 長原 徹

### 内容

- ① 政府の資金調達である財政の仕組みを紹介し、現在の日本の財政状況を見てみます。
- ② 現在の日本の財政問題を、景気や将来世代への影響といった観点から分析します。
- ③ 現代日本の財政問題の解決策を、消費税の問題や日本政府の取り組みなどを踏まえたうえで検討します。